

むきぼんだ花だよ 8月

2015. 8. 1



ヘクソカズラの花

アカネ科 ヘクソカズラ属
奈良時代は糞蔓で、いつの間にか、おならの臭いを加えて屁糞蔓となり、小さな可愛い花ですが、可哀そうな名前が付けられた。別名でヤイトバナ、サオトメバナとも。



クサギの花

シソ科 (旧:クマツヅラ科) クサギ属
爽やかな風に乗ってユリのような香りが漂い、弥生の森を紅色の萼が彩る。ビタミン剤のような独特な臭い匂いがして、臭木と名付けられた。染料や若葉を食料のクサギナとしても利用されている。

名前に興味ありました



『オトギリソウ』

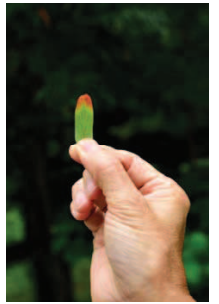
物騒な名前であげられていましたが、今回比較的綺麗に写真を撮ることができました

花言葉
恨み、秘密、迷信、復讐

誕生花
6月24日

弟を切る草、オトギリソウの名の由来

オトギリソウは漢字では「弟切草」と書きます。これは、鷹匠(たかしょう)兄弟の兄が秘密にしていた秘伝の鷹の傷薬である粟草(オトギリソウのこと)の存在を、弟が他人にばらしてしまい、怒った兄によって切り殺されたという平安時代の伝説が由来となっています。このとき飛び散った血痕が葉や花びらにある赤黒い斑点になったとも言われていて、花言葉の「秘密」や「恨み」もこの伝説が元になっているようです。



妻木晩田で 素敵な名前の植物に出会いました

『ウィーピングラブグラス』

良くみる植物ですが存在感がなく、ただの雑草と思っていましたところが素敵な名前で驚きました



イネ科の多年草で、南アフリカ原産。日本には戦後、道路の法面に用いられ、今ではこれを見ない場所が無い程に広がっているとある。根がよく張り、乾燥や高温、低温に非常に強いので砂丘地帯などの緑化に有用な植物である。また同様の理由から砂防工事や築堤などの土留めに用いられる。特にアメリカで土木工事に広く使われ、日本でも高速道路の土留めに使われるようになった (別名シナダレスズメガヤ)

あなたはいくつ分かりますか むきばんだに咲く草花



- ① ハハコグサ (母子草) ② チチコグサ (父子草) ③ ヨモギ (蓬) ④ カゼクサ (風草)
 ⑤ ニワゼキショウ (庭石菖) ⑥ ブタナ (豚菜) ⑦ タチイヌノフグリ (立犬のふぐり)

サクラの幹とアブラゼミ

春に花を咲かせ、私たちを楽しませてくれた桜。真夏の今は葉を茂らせ、蟬に涼しい木陰を提供しています。幹に共生している苔がまるで絨毯のようになって、蟬を優しく招き入れてます。

アブラゼミは(カメムシ目)カメムシ、アブラムシの仲間です。名前の由来は鳴き声が油を鍋で熱したときに出る音に似ていることから命名されたと言われていますが、鳴くのは雄だけです。また、アブラゼミの特徴は不透明な翅にあります(他の蟬は透明です)。蟬の仲間は卵から成虫になるまで7年かかりますが、地上に出て1~2週間を命を閉じます。



妻木晩田 夏から秋へと移り変わる風景



★むきばんだを歩く会★

- 指導: 鷲見寛幸先生(鳥取県自然観察指導員)
- 毎月第1土曜日午前9時30分~正午
- 入会金 2000円 毎回資料代 300円 いつでも、どなたでも入会可能です
- 問い合わせ: むきばんだ応援団「むきばんだをあるく会」090-7974-2359(阿部)